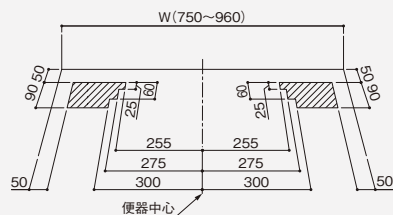


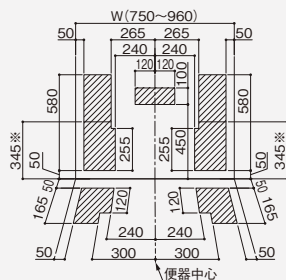
●スリム収納タイプの場合



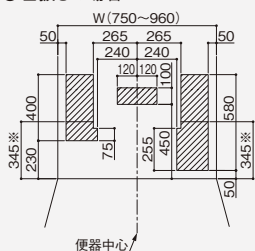
②壁排水

- ・給水管は壁・床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・給水位置が便器中心より右側の場合、延長用ホース(UGTN98L2X50RS)を別途ご注文ください。
- ・※印より上に給水位置がある場合、棚板が取り付けられません。

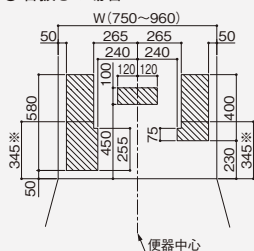
●後ろ抜きの場合



●左抜きの場合



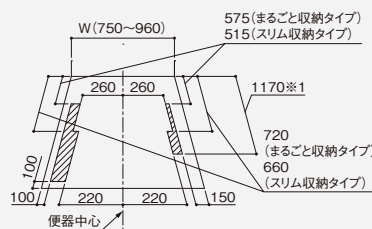
●右抜きの場合



2-2 水抜栓位置(水抜方式の場合)

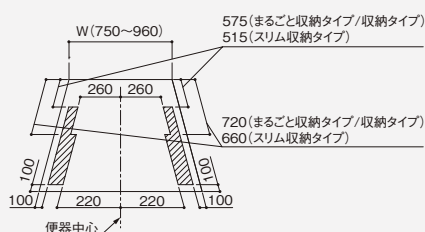
- ・紙巻器の設置位置をご確認ください。水抜栓の高さが450mmを超える場合は、紙巻器に干渉するおそれがあります。
- ・棚付二連紙巻器を設置する場合は、棚板などと干渉しないかをご確認ください。

●L型



- ※1 カウンター長さ1600mmの場合
- ※図は左勝手の場合です。右勝手の場合は左右反転となります。

●I型

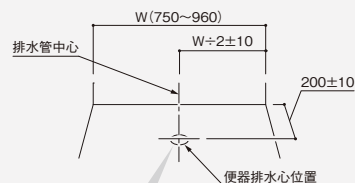


2-3 排水位置

(1)床排水

●排水心200mmの場合

- ・排水管(VP・VU75)は床仕上げ面と同一面で立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。

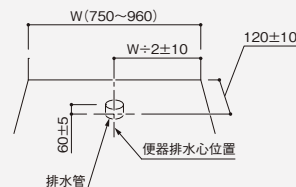


- ・配管周囲10mmより外側の床を傷つけないでください。
- ・配管外の床面に傷が露出するおそれがあります。
- ・排水心が前後にずれた場合、立ち上げなおしてください。
- ・大便器の詰まり・器具と配管干渉のおそれがあります。

※排水心が左右にずれた場合は、左右扉の見え方が異なる場合があります。

●排水心120mmの場合

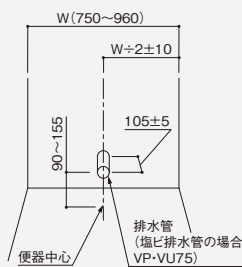
- ・排水管(VP・VU75)は床仕上げ面から60±5mmで立ち上げてください。
- ・VP・VU100には接続できません。



(2)壁排水

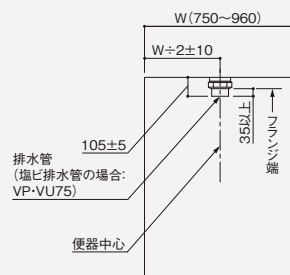
- ・VP・VU100には接続できません。
- ・排水勾配は必ず1/50以上確保してください。
- ・便器と排水管はジャバラ管(材質:軟質塩ビ)での接続となります。

●後ろ抜きの場合



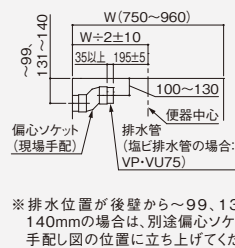
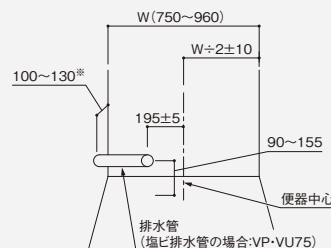
●後ろ抜き フランジ付きの場合

排水位置高さは90~155mmです。



●左右抜きの場合

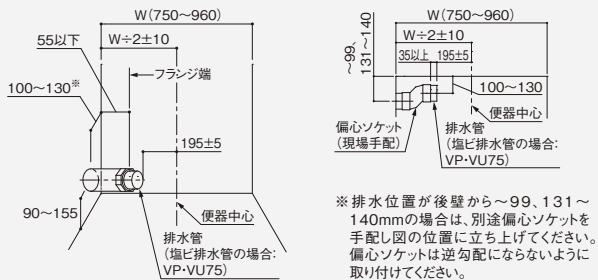
- ・図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右対称となります。



※排水位置が後壁から99、131~140mmの場合は、別途偏心ソケットを手配し図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。

●左右抜き フランジ付きの場合

・図は左抜きの場合です。右抜きの場合は左右対称となります。

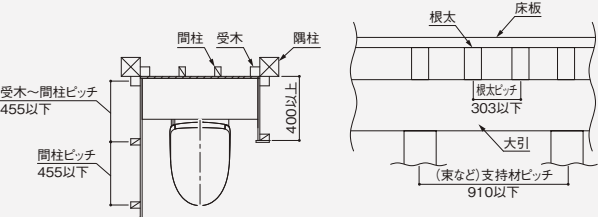


※排水位置が後壁から～99、131～140mmの場合は、別途偏心ソケットを手配し図の位置に立ち上げてください。偏心ソケットは逆勾配にならないように取り付けてください。

2-4 補強材位置

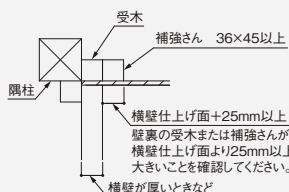
- ・木材や建築部材が腐食などで強度不足でないことをご確認ください。
- ・間柱および受木が所定の位置にあることをご確認ください。
- ・後壁と横壁が、受木や間柱などを介し連結されていることをご確認ください。
- ・建築材に必要なサイズは以下寸法です。
 - 〈後壁〉間柱、受木:幅38mm×奥行き89mm以上
 - 〈横壁〉間柱、受木:幅36mm×奥行き45mm以上
 - 〈床材〉根太:幅36mm×高さ45mm以上
- ・横壁の壁材は石膏ボード(9.5mm)相当以上をご使用ください。
- ・横壁に扉が付く場合やエンドパネルありの場合でも、後壁から400mmは壁を取り付けてください。

建築材のピッチは以下寸法で配置してください。



●横壁仕上げ面より受木が小さい場合

- ・必要に応じて補強さんを追加してください。
- ・補強さんは上下端を固定してください。または間柱や受木に横打ちしてください。



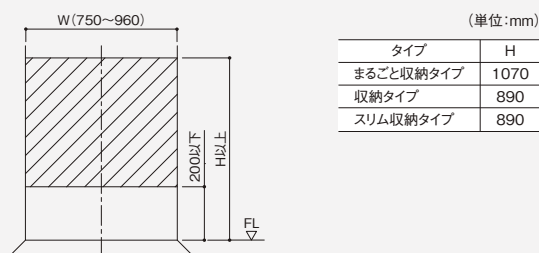
(1) 大便器キャビネット部

①壁裏補強あり

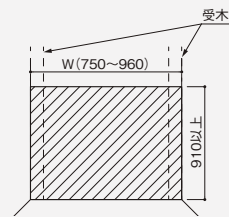
- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の構造用合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。

〈後壁について〉

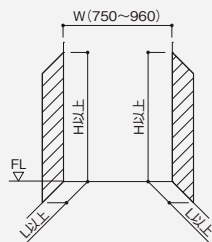
●戸建(木軸構造)の場合



●マンション(軽量鉄骨LGS構造)の場合



〈横壁について〉



(単位:mm)

タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

②壁裏補強なし(戸建(木軸構造)のみ)

〈後壁について〉

壁裏補強なしで施工する場合、大便器キャビネットを間柱、受木に固定します。

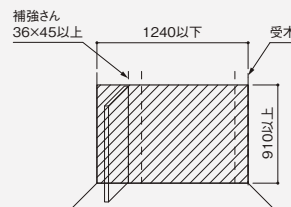
〈横壁について〉

壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション:L型の場合UGA490B、I型の場合UGA490A)をご使用ください。

(2) エンドパネル部

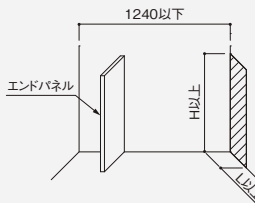
〈後壁について〉

- ・図の範囲にいずれかの補強を入れてください。
 - ・t12以上の構造用合板(JAS規格品)2枚重ね
 - ・t24以上の構造用合板(JAS規格品)
- ・図はRタイプのエンドパネルの場合です。Lタイプの場合は左右反転となります。



〈横壁について〉

- ・図の斜線範囲にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・壁裏補強なしで施工する場合、ボードアンカー(オプション:L型の場合UGA490B、I型の場合UGA490A)をご使用ください。
- ・図はRタイプのエンドパネルの場合です。Lタイプの場合は左右反転となります。



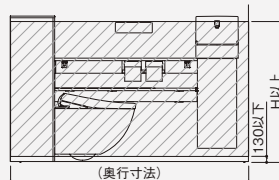
(単位:mm)

タイプ	H	L
まるごと収納タイプ	1070	240
収納タイプ	890	240
スリム収納タイプ	890	180

(3) L型手洗器キャビネット部

①壁裏補強あり

- ・図の斜線範囲(周辺部材を設置する場合は取付面)にt12以上の普通合板(JAS規格品)を入れてください。
- ・合板は間柱および受木に固定してください。



(単位:mm)

手洗器	H
ペッセルタイプ(丸形/角形)	740
ハイバックタイプ	1030